

平成17年3月期 第3四半期業績の概況(連結)

上場会社名 株式会社 アプラス (コード番号: 8589 大証第一部)

(URL <http://www.aplus.co.jp>)

代表者 役職名 取締役社長 氏名 杉山 淳二

問合せ先責任者 役職名 執行役員 氏名 籠谷 修司 TEL (06) 6245 7952

親会社名 株式会社 新生銀行(コード番号: 8303) 親会社における当社の株式保有比率 67.6%

平成17年3月期第3四半期の業績概況(平成16年4月1日~平成16年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満切捨)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第3四半期	73,690	(7.3)	5,209	(82.9)	5,534	(74.4)	2,610	40.0
16年3月期第3四半期	79,479	()	2,848	()	3,173	()	1,083	()
(参考)16年3月期	107,308		3,652		4,121		1,483	

(注)1. 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 連結(新規) - (除外)1社
DAISHINPAN(CANADA) INC. は、全株式を売却したため、子会社ではなくなりました。

2. 営業収益、営業利益、経常利益、当期(四半期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率
なお、当社は、平成16年3月期より四半期の業績概況を作成しております。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益が改善傾向を示す等、回復基調に移行してまいりましたが、景気の本格的な回復には今しばらく時間を要する状況で推移いたしました。

このような中で当社グループは、株式会社新生銀行と全面的な業務・資本提携を行い、「ショッピングクレジット事業」「カード事業」「消費者金融事業」等のコア事業へ経営資源を集中し、多様化・高度化が進むお客さまのニーズに先進的な商品やサービスの提供に取り組んでまいりました。

これにより、当第3四半期の営業収益は736億90百万円となりました。

経常利益は株式会社格付投資情報センターより長期優先債務格付《BBB+》を取得する等、資金調達構造の最適化に取り組んでまいりました結果、金融費用が低下したこと等により、55億34百万円となりました。

なお、四半期純損失の計上は、中間期において株式会社新生銀行との全面的な業務・資本提携に伴う特別損失を計上したことによるものであります。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総 資 産		株 主 資 本		株 主 資 本 比 率	
	百万円		百万円		%	
17年3月期第3四半期	1,576,012		177,419		11.3	
16年3月期第3四半期	1,883,004		49,404		2.6	
(参考)16年3月期	1,841,947		50,752		2.8	

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末における財政状態につきましては、総資産は1兆5,760億12百万円、株主資本は1,774億19百万円となりました。

株主資本につきましては、中間期における中間純損失の計上によるものであります。本年2月に予定しております2,410億円の優先株式による第三者割当増資の実施等により解消されるとともに、財務内容は大幅に強化される見込みであります。

(3) 平成17年3月期の連結業績予想(平成16年4月1日~平成17年3月31日)

	営 業 収 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円
通 期	97,500	6,000	260,700

[業績予想に関する定性的情報等]

平成17年3月期の連結業績予想につきましては、平成16年11月26日公表を上方修正いたします。(経常利益50億円 60億円へ)

これは、順調に推移いたしました当第3四半期における経営成績を反映したものであります。

(参考) 平成17年3月期の個別業績予想(平成16年4月1日~平成17年3月31日)

	営 業 収 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円
通 期	97,000	5,500	260,800

以 上